

親族間（直系卑属外）の経営継承

経営継承までのプロセス

2016年

後継者（娘婿）が会社に勤務しながら
先代経営者の農業の手伝いを始める

2017年

後継者として経営継承することを前提に、
先代経営者のもとで就農開始

2018年

経営継承に関し、**かごしま農業経営相談
所よりスペシャリスト派遣**による専門家
（税理士）派遣開始



先代経営者／
山口 幸一さん
（68歳）の場合

肉用牛経営から露地野菜の栽培
まで幅広く農業を手掛ける。経営
継承は後継者の想いを尊重し、後
継者を支える形で進めた。

- 収入金額：66百万円（2019年）
- 所得金額：非公開
- 従業員数：家族従事者1名、正社員1名
- 事業地：鹿児島県鹿屋市
- 事業概要：農産物の生産（肉用牛、露地野菜）
- 規模：繁殖牛33頭、
田0.5ha、畑12ha

かくして具体的に 継承の取組みがスタート！

後継者と先代経営者が一緒に経営継承計画を作成
経営継承日を定め、準備を開始

2020年1月

資産売買契約を締結し、継承

2021年

経営継承に関する補助事業に応募

親から娘婿に継承（親族内継承・個人）

継承内訳

人（経営権）の継承

- 後継者名義の開業届を提出。
- 継承する前に、専門家を交え農業経営を学ぶ。

資産（モノ・カネ）の継承

- 資産売買契約を行い、生物と棚卸資産のみを譲渡。
 - 対象…繁殖牛、素牛、飼料等生産に直接的に影響するもの
 - 農業用機械や施設は賃借契約により使用。
 - 対象…トラクター、牛舎等
- 【移譲者債務について】
- 債務はなく、後継者への債務引き受け等は発生せず。

知的資産の継承

- 共に農業を行うことで技術を計画的に継承。
- 継承後は経営に関与せず、後継者より相談があった際に対応。

継承後の経営発展と今後の取組み

後継者／中島 将就さん（29歳）

継承年月…2020年1月
収入金額…54百万円（2020年）

所得金額…非公開

従業員数…家族従事者1名、正社員1名

事業概要…農産物の生産（肉用牛、露地野菜）

規模…繁殖牛33頭、田0.5ha、畑12ha

今後、時代の流れに合わせ、地域に適した作物を作り、持続可能な農業経営を行っていく。
牛の増頭、牛舎増築を行い、規模拡大し、また、さらなる機械化による省力化を図る。



山口家のケースから学ぶ経営継承あるある

登場人物



娘：中島南



先代経営者：山口幸一



後継者(娘婿)：中島将就



